



「JGAP」でより良い畜産物生産を！！

JGAPとは、生産者のみなさんが日頃から行っている、**家畜衛生・食品安全、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェア**などを確保するための取組状況を、記録簿や掲示物によって“見える化”しながら、畜産物（食品）の安全性を確保し、より良い生産工程管理を実現する取組です。



登録番号 123456789

GAPに取り組みましょう！！【まずは農業生産のレベルアップ！！】

ステップ1：基本の整理・整頓から

みなさんがこれまでも取り組んできた**整理・整頓**や、**生産履歴の記帳**が基本です。



ステップ2：チェック項目に従って、農場内を点検

JGAPやGAPチャレンジシステム等のチェック項目に沿って点検をしましょう。

※（公社）中央畜産会のホームページでチェックシートを入手できます。

農場の点検をして、達成できていない項目について、農場の管理体制の改善や書類の作成などに取り組みましょう！

①家畜衛生・食品安全

専用の作業服・長靴

②環境保全

家畜排泄物の適切な処理・利用

③労働安全

機械・設備の点検・整備

④人権保護

労働者との意見交換

⑤農場経営管理

責任者の配置、教育訓練

⑥アニマルウェルフェア

快適性に配慮した家畜の飼養管理

GAP認証を取りましょう！！【GAPの構築に向けた準備が必要】
準備を進めるために、**GAP構築に知見のある指導員**の指導を受けると効果的です。

ステップ3：準備完了、いさ審査！

審査機関に申込み、審査員に取組を評価してもらいます。

※認証を取得するには、一定の費用がかかります。

JGAPのメリット

- ・農場の仕事が効率化し、経営改善や品質向上、技術の継承にも役立ちます。
- ・専門の審査機関の審査・認証を受けることでバイヤーに「信頼できる農場」であることを客観的にアピールできます。
- ・農業経営体の大規模化、強い産地ブランドづくりの両方で内部の仕組み作りに役立ちます。

※ 当所では、畜産農場におけるJGAP構築を支援しますので、導入を検討される方はお気兼ねなくご相談ください。

暑熱対策始めていますか？

家畜の生産性低下を防止するために、暑熱対策の準備を進めておくことが重要です。公益社団法人 中央畜産会のホームページ (<http://jlia.lin.gr.jp/>) 等にも優良事例が紹介されていますのでご参照ください。

➤ 畜舎外の対策

- ✓ 遮光ネットやよしずの設置
- ✓ 断熱材の設置、屋根などへの遮熱材（石灰乳等）の塗布による輻射熱抑制

➤ 畜舎内の対策

- ✓ 換気扇や送風機での送風
- ✓ 畜体への散水

➤ 飼養管理面の対策

- ✓ 密飼い防止
- ✓ 敷料交換の期間短縮
- ✓ 良質な粗飼料と清潔な水の給与及びミネラルの補給（重曹の添加など）



緑のカーテン(ヘチマ・アサガオ)



屋根への石灰の吹きつけ

* 中央畜産会HPから抜粋

平成30年度家畜保健衛生推進会議を開催しました！

平成30年5月25日（金）、熊本市国際交流会館において、管内の関係機関との協力体制の確立や円滑な業務推進を図るため、平成30年度家畜保健衛生推進会議を開催しました。

会議では、家畜保健衛生所の各種事業概要及びJGAP認証の推進、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ発生状況及び発生時の関係機関の役割等を説明するとともに、関係機関の連携強化を図りました。



近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(8件)	家きん	平成30年5月14日～6月22日
	H7N9	中国(1件)	家きん	平成30年5月22日
	H5N1	中国(1件)	家きん	平成30年6月12日
口蹄疫	O型	中国(2件)	牛	平成30年5月20日～6月5日

平成30年7月1日現在

毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

